

第49回

ごはん・お米とわたし

作文・図画コンクール入賞作品集



図画1部 山形県知事賞

「あかるいはらっぱでいきもち」
尾花沢市立尾花沢小学校1年
ほり たいせい
堀 大晴 さん



図画2部 山形県知事賞

「弟の歯がぬけた日は
米のしゅうかく記ねん日」
新庄市立萩野学園4年
にと ねね
二戸 寧音 さん

作文1部 山形県知事賞

「ぼくのごはんは金メダル」
東根市立小田島小学校2年
おやまだ えいた
小山田 瑛太 さん



作文2部 山形県知事賞

「祖父の思い」
大蔵村立大蔵小学校5年
いとう りの
伊藤 莉乃 さん

作文3部 山形県知事賞

「おにぎりと僕」
米沢市立第四中学校3年
むらた けいしん
村田 慶真 さん



令和7年2月
山形県農業協同組合中央会・山形県農協農政対策本部





◆ごあいさつ	1
山形県農業協同組合中央会代表理事会長 折原敬一	

◆第49回「ごはん・お米とわたし」作文・図画コンクール入賞一覧	2
---------------------------------	---

◆図画部門	
図画1部／全国優秀賞・山形県知事賞 山形県農業協同組合中央会会長賞	3
図画2部／全国優秀賞・山形県知事賞 山形県農業協同組合中央会会長賞	4
図画3部／山形県知事賞 山形県農業協同組合中央会会長賞	5

◆作文部門	
作文1部／全国優秀賞・山形県知事賞	6
山形県農業協同組合中央会会長賞	7
作文2部／全国優秀賞・山形県知事賞	8
山形県農業協同組合中央会会長賞	10
作文3部／全国優秀賞・山形県知事賞	12
山形県農業協同組合中央会会長賞	14

◆審査講評	
作文部門審査講評	16
図画部門審査講評	17
上山市立中川小学校校長 武田 裕	
大江町立左沢小学校校長 建部 敦	

◆第37回～第49回 入賞一覧	18
-----------------	----

◆審査経過の概要	20
----------	----

◆募集要領	21
-------	----



ごあいさつ

第四九回「ごはん・お米とわたし」作文・図画コンクールに応募いただいた児童・生徒の皆さん、とても素晴らしい作品をありがとうございます。心からお礼申し上げます。

また、入賞された皆さん、誠におめでとございます。心からお祝い申し上げます。

私たちJAグループは、次代を担う小・中学生の皆さんに、古くから日本の食卓と国土を育んできた稲作農業、ごはん食と健康の結びつきを見直してもらうため、昭和五二年度からこのコンクールを実施しております。

今回は、県内の小・中学校から作文二・四三三点、図画一〇二四点もの力作を応募いただき、全国コンクールに推薦するとともに、県コンクールにおいては、山形県知事賞、山形県農業協同組合中央会会長賞、優秀賞、学校奨励賞を選考いたしました。

全国コンクールにおいては、作文部門で三名、図画部門で二名の方が優秀賞を受賞する成績を収めました。これは入賞された皆さんのご努力はもちろんのこと、ご指導いただきました学校の先生方をはじめ、ご家族の皆様、審査委員の先生方、そして山形県ならびに各JAのご支援・ご理解の賜物と心から感謝申し上げます。

今回応募いただいた作品は、田植えや収穫作業、ごはんをおいしそうに頬張る様子などを臨場感たっぷりに表現したもの、ごはんを通じて家族とのつながりやごはんへの思いを豊かに表現したものなど、心に響く作品ばかりでした。また、作品の中で描かれている体験を通して、皆さんが成長している姿を感じる事ができ、日本人の生活とお米の深い結びつきを改めて実感しました。

どうか皆さん、毎日ごはんを食べることが出来る幸せを忘れないください。

現在、日本は、世界中の国々と貿易を行い、食料の多くを外国から輸

山形県農業協同組合中央会

代表理事会長

折原敬一

入しています。皆さんは、わたしたちが毎日食べている食べ物、どこで作られたものなのか知っていますか。食べ物全体のうち、どのくらい日本国内でつくっているかを示す食料自給率は三八％で、先進国の中でも最低の水準にあります。世界的には、人口の増加により食料が足りなくなることが心配されており、それぞれの国が食料自給率を向上させることが重要になります。

わたしたちJAグループは、地元産をはじめとした国産農畜産物の消費拡大や皆さんの安全な食生活の確保に向けて、日本人の主食である「ごはん」を中心とした日本型食生活の推進、学校給食における安全・安心な農畜産物の提供、「食」と「農」の大切さを伝える食農教育の推進、国民が必要として消費する食料は、できるだけ国内で生産する「国産国産」の国民的理解促進に向けた取り組みに一層努力してまいります。「食と農を基軸とした地域に根ざした協同組合」として引き続き様々な取り組みを進めてまいりますので、これからもご理解・ご協力をお願いいたします。

さて、本県産「つや姫」は、平成二三年のデビュー以来、多くの方々からご好評をいただき、トップブランドとして皆さんにとっても馴染みのお米となりました。「つや姫」に続き、平成三十年にデビューした「雪若丸」も、「元気な粒に、うまさぎつしり」のキャッチフレーズのとおり、粒立ちがしっかりしていて、さまざまな料理と相性が良いことから、大変ご好評をいただいております。本県では、このほかに、「はえぬき」などのおいしいお米をたくさんつくっています。これからも安全・安心でおいしいお米を皆さんにお届けしてまいりますので、引き続き応援をよろしくお願いいたします。

最後に、当コンクールをますます発展させていただきますよう皆様からのご協力をお願い申し上げ、ごあいさつとさせていただきます。



尾花沢市立尾花沢小学校一年
堀^{ほり} 大晴^{たいせい}

「あかるいはらっぱでいいきもち」

●全国優秀賞／山形県知事賞●



尾花沢市立玉野小学校二年
岸^{きし} 想来^{そうら}

「ぼくちやまき」

●山形県農業協同組合中央会会長賞●

第49回「ごはん・お米とわたし」

作文・図画コンクール入賞一覧

(敬称略)

全国審査における入賞者

○全国優秀賞

(作文1部)	小山田 瑛太	東根市立小田島小学校	2年	(作文2部)	伊藤 莉乃	大蔵村立大蔵小学校	5年
(作文3部)	村田 慶真	米沢市立第四中学校	3年	(図画1部)	堀 大晴	尾花沢市立尾花沢小学校	1年
(図画2部)	二戸 寧音	新庄市立萩野学園	4年				

山形県審査における入賞者

作文部門

●1部 (小1～3年)

山形県知事賞	小山田 瑛太	東根市立小田島小学校	2年
山形県農協中央会会長賞	阿部 市香	最上町立向町小学校	3年
優秀賞	海野 滯里	庄内町立立川小学校	1年
	佐藤 悠仁	米沢市立広幡小学校	1年
	中川 陽斗	高島町立二井宿小学校	2年
	遠藤 睦斗	南陽市立沖郷小学校	3年
	二宮 悠里	南陽市立沖郷小学校	3年

●2部 (小4～6年)

山形県知事賞	伊藤 莉乃	大蔵村立大蔵小学校	5年
山形県農協中央会会長賞	佐藤 誠志郎	鶴岡市立朝陽第二小学校	6年
優秀賞	高橋 青愛	南陽市立沖郷小学校	4年
	矢作 莉夢	大蔵村立大蔵小学校	4年
	大沼 希依	最上町立大堀小学校	5年
	高野 幹太郎	米沢市立愛宕小学校	5年
	添川 夢叶	高島町立和田小学校	6年

●3部 (中1～3年)

山形県知事賞	村田 慶真	米沢市立第四中学校	3年
山形県農協中央会会長賞	戸田 寛幸	米沢市立第一中学校	2年
優秀賞	佐藤 初佳	米沢市立第七中学校	1年
	土田 彩太	天童市立第三中学校	1年
	渡部 紫季	米沢市立第四中学校	1年
	五十嵐 大貴	米沢市立第四中学校	3年
	我妻 尚哉	高島町立高島中学校	3年

●学校奨励賞

南陽市立沖郷小学校
米沢市立第四中学校

図画部門

●1部 (小1～3年)

山形県知事賞	堀 大晴	尾花沢市立尾花沢小学校	1年
山形県農協中央会会長賞	岸 想来	尾花沢市立玉野小学校	2年
優秀賞	五十嵐 雪乃	大江町立左沢小学校	1年
	伊藤 想桜	最上町立大堀小学校	1年
	永倉 稜久	東根市立神町小学校	2年
	島倉 琉衣	高島町立屋代小学校	3年
	野崎 亜瑚	大蔵村立大蔵小学校	3年

●2部 (小4～6年)

山形県知事賞	二戸 寧音	新庄市立萩野学園	4年
山形県農協中央会会長賞	茂木 光	天童市立天童南部小学校	6年
優秀賞	近野 花怜	米沢市立興譲小学校	4年
	鈴木 詩	長井市立致芳小学校	5年
	戸田 諒太郎	米沢市立南原小学校	5年
	添川 夢叶	高島町立和田小学校	6年
	渡部 智秋	高島町立屋代小学校	6年

●3部 (中1～3年)

山形県知事賞	笹木 一花	米沢市立第二中学校	1年
山形県農協中央会会長賞	高橋 和心	米沢市立第二中学校	3年
優秀賞	青木 結菜	米沢市立第二中学校	1年
	遠藤 夏月	鶴岡市立櫛引中学校	1年
	小野寺 由衣	鶴岡市立櫛引中学校	1年
	佐藤 和奏	山形市立第五中学校	2年
	沖田 葉音	米沢市立第二中学校	3年

●学校奨励賞

尾花沢市立尾花沢小学校
米沢市立第二中学校

● 全国優秀賞／山形県知事賞 ●

「弟の歯がぬけた日は
米のしゅうかく記ねん日」

新庄市立萩野学園四年

二戸 寧音



● 山形県農業協同組合中央会会長賞 ●

「ごはんに感謝！「いただきます！」」

天童市立天童南部小学校六年

茂木 光



● 山形県知事賞 ●

「ばあちゃんのおにぎりは世界一!!」

米沢市立第二中学校一年

笹木 一花



● 山形県農業協同組合中央会会長賞 ●

「運動後の養分補給」

米沢市立第二中学校三年

高橋 和心



●全国優秀賞／山形県知事賞●

ぼくのごはんは金メダル

東根市立小田島小学校二年

おやまだ えいた
小山田 瑛太

コトツとテーブルにおちやわんがおかれ、ほかほかの白ごはんを口いっぱいにはおぼるのが、ぼくは大すきです。朝のひとくちは、何もかけずに食べます。それは、ごはんをかみしめた時にほのかなあまみをかんじられるからです。そんなごはんをぼくも作ってみたいと思いました。

毎日のごはんは、お母さんやおばあちゃんが、作ってくれます。お母さんのごはんは、少しやわらかめで食べやすいです。おばあちゃんのごはんは、ふつくらもちもちしています。同じお米なのにいろいろなごはんにへんしんしてふしぎです。「ぼくのごはんは、どんなかんじかな。」

心の中でワクワクとドキドキがわいわいおどつています。

●山形県農業協同組合中央会会長賞●

がんばれ赤ちゃんええ！

最上町立向町小学校三年

あべ いちか
阿部 市香

わたしは、毎日お米がおいしいなと思ひながら食べています。なぜかというと、パパが一生けんめいに作ってくれたお米だからです。

「パパのお米はあまくておいしいな。」
「気持ちがかもつているな。」

そう思うともっとおいしく感じます。また、わたしは五月になるとかならず手伝いをします。わたしが手伝っていることは、たねうえのじゅんびです。その中でもきかいを使ってたねに土をかぶせる作ぎようがとくいです。その作ぎようではトレイが曲がらないようにすばやくやっています。そして手伝った後には、ハウスの中でどんどん葉っぱがのびていく様子を見ながら、
「大きくなつてね赤ちゃんええ。」

シャツ、シャツ、シャツと、ぼくの手は、ボウルの中のお米をかきまぜながら、リズムよくといでいきます。ときおわたたら、水をたつぷりそいで、お米をきれいにし、その水をすてます。お米が気もちよく水あそびしているみたいです。すいはんきのおかまに、お米と水を入れてスイッチをオン！少し時間がたつてから、ふつふつとごはんのいいにおいがしてきました。いよいよぼくのごはんがかんせします。

すいはんきからごはんがたけた音楽がなつて、ついにその時がきました。すいはんきのふたを開けると、ゆげのなかからつやつやのごはんがぼくを見ていました。ぼくは、しゃもじでごはんをまぜて、おちやわんによそいました。

「ようこそぼくのおちやわんへ。」
大せいこうです。たきたてほかほかのごはんをかぞくみんなで食べました。みんなとてもおいしいと言ってくれました。ごはんのオリンピックがあつたらぼくは金メダルです。

と思っています。

うちでとれたお米は、赤くら温せんスキー場にある「ヒュッテチロル」で使ってもらっています。とくに名物のジンギスカン定食では、どんぶりに山もりのごはんがつかますが、お客さんが、
「お米がとってもあまくておいしいね。」

と言っておかわりしているところを何回も見ました。そこにちょうどいたわたしにお店の人から、
「この子のおうちで作っているんですよ。」

とお客さんに伝えてくれました。その時は、とてもうれしい気持ちになりました。

今年は、雪不足で水が足りなかったことと、先日の大雨のえいきようで、大きくなるか心配しています。田んぼの前を通るたびに、

「がんばれ！大きくなつてね。」
とねがっています。そして、お米がとれたらチロルのお客さんのように、大きなどんぶりで食べたいです。

●全国優秀賞／山形県知事賞●

祖父の思い

大蔵村立大蔵小学校五年

伊藤 莉乃

穂が出ようとしている八月上旬の暑い日、今日も祖父は、水の管理のために田んぼに行きました。私の家では、祖父と父が米づくりをしています。祖父が中心に進めています。私は毎年、種まきの手伝いをしています。小さい時は、田植えやいねかりにもよくついていきました。でも、最近はスポ少などが忙しくていけません。祖父は、どんなに忙しい日でも、毎日欠かさず朝晩の二回、田んぼに足を運びます。そこでは水の管理をしています。水が少なかったら水を足して、多かったら少なくします。おいしいお米を作りたいから毎日見

にしたいというあきらめない気持ちが伝わってきました。

私の家のいねも無事に穂が出ようとしています。どんな状況ようでも、自分にできることを最後まででせいいっぱいする祖父のすがたから、あきらめないことの大切さを学びました。

最近、祖父はひざの調子が悪く、歩くのが大変そうな時があります。たまに弱音を吐くこともあるけれど、米づくりが好きでおいしいお米を作りたいからがんばれるそうです。この思いだけで、五十年以上も米をつくり続けている祖父を私はそんけいしています。そして、家族のためにがんばる祖父に感謝の気持ちでいっぱいです。

私が今、祖父のためにできることは、「いただきます」「ごちそうさまでした」をしっかりと言うこと、残さずいっぱい食べることです。そして、祖

守っているそうです。このような祖父の努力のおかげで、私はおいしいお米を食べることができています。

山形県をおそった七月の豪雨。私が住む大蔵村でも、水害がありました。私の家の田んぼも、水につかったり、田んぼの周りがくずれてしまったりと被害がありました。私は、今年の米はもうだめだと思いました。祖父にもその話をする、

「消毒や補修をがんばれば大丈夫だ。」

と力強く話していました。どうやって直すのか聞くと、元の形に土を置いて固めて直すと言っていました。こんなに大変そうな仕事を祖父と父の二人でできるのか心配になりました。一度直してみただけどくずれてしまっていました。でもあきらめずに取り組むすがたはとても勇ましかったです。田んぼがくずれてがっかりしていたけど、元通り

父のように夢中になれる好きなことを見つけることです。

今日も、祖父の思いがつまったご飯をいっぱい食べて、元気に登校します。



●山形県農業協同組合中央会会長賞●

大切なお米

鶴岡市立朝陽第二小学校六年

佐藤 誠志郎

僕はお米が大好きです。おにぎりだったら、いくらでも食べることができます。ようち園のころのおやつは、おばあちゃんがにぎってくれたホカホカのたわら型のおにぎりでした。どんなおかしよりもおいしくて、おばあちゃんの優しさがつまった最高の食べ物でした。

ところで、最近さらにお米が好きになるようなできごとがありました。一年に三度もお米を食べることができない期間があったのです。なぜお米を食べることができなかつたかというところ、三度の入院のためです。まず一回目は、のどの手術のため

その虫垂炎を治すための手術のときでした。手術が終わってすぐには何も食べることができませんでしたが、三日後に食べることができたおかゆはかなりおいしく、その後にやっと食べることができたお米は、そのさらに上に行くおいしさでした。ご飯を食べることができるようになってからの回復は、不思議ととても早かつたような気がします。

この三度の入院経験を通して、お米を食べることのできる素晴らしさやありがたさをあらためて実感することができました。また、健康でいることの大切さや健康でいるからおいしいご飯も食べることができるということも実感することができました。

そして、この経験をして思い出したことがあります。ぼくは、ようち園のころ、米作り体験をしたことがあります。そのとき、田植えをするだけ

めの入院でした。その手術の直後は、つばを飲み込むのも痛いぐらいだったので、お米はもちろん、何も食べることができません。手術から二日ぐらいたって、やっとおかゆを食べることができました。おかゆもおいしかったのですが、やっぱりちょうどいいかたさのあのお米が食べたいな、と思いました。そして二回目は「虫垂炎」という病気で、入院することになりました。この時も、何も食べることができなかつた時があり、やっと食べることができたのは柔らかくしたプリンでした。ホカホカの白いご飯が早く食べたくて、なぜこんな病気になってしまったのだと歯がゆい気持ちでいっぱいでした。そして、その何日か後に、やっと普通のご飯を食べることができました。ふたを開けたときのおいしさが今でも思い出せます。一口食べるととてもうれしくて、泣きそうになりました。そして三回目は、

できさへも、泥まみれになって大変だったことを思い出しました。米作りをしている農家の方々の苦労はそんなものではないはずです。大雨や日照りなど天候との戦いもあるでしょう。大変なお仕事なのに、お米を作ってくださいっている農家の方には感謝しかありません。そのようにしてできたお米のおいしさをもっと伝えていきたいと思っています。そして、お米を食べることができると幸せを感じながら、一粒二粒大切に味わって食べたいと思います。



●全国優秀賞／山形県知事賞●

おにぎりと僕

米沢市立第四中学校三年

むらた 村田 けいしん 慶真

ぼくらは やまがた こころのクラブさ
さけぼう さけぼう ぼくらはここだ
うまれた ときから しぬまでいつしよさ
こぶし にぎって このうたをうたう

モンテディオ応援歌「山形少年」

この歌はモンテディオ山形の応援歌です。

僕はこの歌詞の通り「うまれたときから」家族と一緒にモンテディオ山形の応援に行っています。家族で応援に行き、モンテディオの勝利のために一生懸命応援することはとても楽しいことですが、僕にはもう二つ楽しみがあります。モンテのスタジアムの外には、ブルーキッチンという食べ物売っ

ている所があり、そこには三十以上のいろんなお店があるのです。そこでご飯を食べるのも醍醐味の一つなのです。その中に忘れられない味がありました。それは塩おにぎりです。

僕が思うおにぎりは、中に梅干しや鮭、辛子明太子、すじこなどほかにも色々ありますが僕がビックリしたのはつや姫の塩おにぎりしか売っていないお店があったことです。そこで食べた塩おにぎりがすごくおいしかったので、とても印象に残っています。

モンテのトップパートナーには、つや姫と雪若丸がなっていて選手のユニフォームの背中には、つや姫と雪若丸の名がのっています。山形のおいしいお米が全国に選手と一緒に発信されるなんてすごいと思いました。

最近、モンテの時だけ毎回父が梅と鮭のおにぎりを作ってくれます。最初は母が料理をしていて手を切つてしまい、父におにぎり作りを頼んだことが始まりでした。母の手が治っても作ってくれるようになったらしく今でも、モンテのある日

は、二人で作ってくれています。

今は家を離れている二人の兄におにぎりのことを話すと、とても羨ましがっていました。父のおにぎりは母のよりぎゅつとしているけど、大きくてとてもおいしいです。それも、モンテの時の楽しみです。これがモンテのおにぎりのもう一つのエピソードです。

僕の家はお寺です。僕の家では年に一度山登りをします。この山登りは東吾妻の山開きです。三代前の住職さんが山登りが大好きで霧ノ平という所まで、お地藏様を背負って登り、米沢山の会の人達に手伝ってもらって安置したということから、今でもうちのお寺で毎年ご祈祷しているのです。山開きには市民の人や山の会の人達も参加します。参加する方々は米沢駅から電車で峠駅まで行き、そこから歩きます。村田家はいとこやおじさん、おばさんも行くので、我が家にとって一大イベントです。朝早くから母と祖母がおにぎりをにぎってくれています。そのほかに、きゅうりのみそ漬けなどの定番のおかずを持って車で出発した。

山の登り口に着いたら、ブルーシートを敷いて朝ご飯を食べます。いともおかずを持ってきたくれます。そのおかずは毎年同じなのですが、とてもおいしくて、おにぎりと合ってご飯がすすむのです。そうしているうちに歩いてきた方と合流し、一時間二十分ほどかけて頂上に登り、ご祈祷が行われます。そこで手に少しだけいただき、おごふのお赤飯がまた格別です。休憩をし、ついさっきご飯を食べたばかりなのに、みんなエネルギーを使ったのでまたおにぎりを食べます。山の頂上からは米沢市内を見下ろすことができ、そこで食べるおにぎりはまた絶品です。「けがをしないで登ってきてね、そして戻ってきてね」「災難よけの梅干しを入れておいたよ」という声を思い出しながら食べました。

このように「おにぎり」一つ一つにも色々な人の思いがつまっているのだなと思います。

お茶わんのご飯とはまた違ったおにぎりが大好きです。僕も今度はみんなのために、にぎってみたいと思います。

●山形県農業協同組合中央会会長賞●

初めてのバケツ稲

米沢市立第一中学校二年

戸田 寛幸 とだ ひろゆき

ある日、母が「バケツ稲づくりセット」を農協からもらってきた。僕は、家庭栽培で米が育つなんて到底信じられず、母を「本気だろうか」と疑わしい目で見ている。

四月、母が粃を水につけ出した。僕はちよつと興味が出て、本当にバケツ稲をするのか母に聞いてみた。すると母は、

「もちろん。あなたも手伝いなさいね。」

と釘を刺すかのように言われてしまった。母は本当に「本気」らしい。

水につかった粃はによきつと芽を出し、ひげを広げた根も出てきた。そこで、種まきをする事になった。バケツに入れた泥に、指でほんの少し穴を掘り、そこに一粒一粒、種をまいていく。不

器用な僕にはとても難しい作業だった。その日は、全部で三十粒以上の種をまいた。二週間程すると、緑の芽が泥の間から次々と顔を出した。僕は、人間がまだこれしか手を加えていないのに、自分たちの力だけで生長する、自然の力強さを感じた。

ある日、母が田植えをしようと言った。いよいよだ。バケツで育った稲を四本ずつにまとめて植え直す。これがなかなか難しかった。しつかりまとめて泥に差したはずなのに、手を離すとばらばらになってしまう。悪戦苦闘しながらも、なんとか九株植えることができた。こうして、我が家にコンテナ水田が完成したのだ。気になって調べたところ、今のような田植機が使われ始めたのは、一九六〇年頃とのことだった。それまでは、田んぼ何枚分も、しかも毎年、手作業で植えていたことを考えると、先人たちに尊敬と感謝の思いを抱かずにはいられない。それが今日まで受け継がれているのだ。

田植えをしてからの生長は早かった。稲の葉はどんどん大きくなり、根本もどんどん太くなって

いった。あまりの順調な生長ぶりに家族の話題に上ることもしばしばだった。その度に、僕はなんとも言えない照れくさい気持ちになった。なんだか自分の分身が褒められたように感じたからだ。

僕の家の近所には、田んぼがない。しかし少し住宅街から外れると、田んぼが一面に広がっている。広大な田んぼを見ながら、バケツ稲ですら稲の生長がこんなにも嬉しいのだから、米農家さんは僕以上に、生長した稲を見て、喜んだり、誇らしかったりするのだろう、と思いを馳せる日もあった。

六月下旬、中干し。高校生の兄と、コンテナを傾けて水を捨てた。後はひたすら、大きく育つようお願いながら、穂が出るのを待つ。のんびり屋の母に育てられた稲は、穂が出るのものんびりらしい。九月になった今は、つやつやとした緑色で、背丈はちょうど小さい子どもぐらいで、いつ穂が実るのか楽しみだ。

これから、稲刈り、脱穀など、僕たち家族の米作りは続いていく。それが楽しみで仕方ない。

もちろん、専門の米農家さんと同じことはできないし、作業にかかる苦労は、僕たちのバケツ稲とは桁違いだろう。しかし、きつと、どんなお米でも、作り手が愛情かけて育ててきたお米は、おいしいに違いない。

この初めてのバケツ稲づくりを通して、何より変わったのは、田んぼの見え方だ。一本一本の稲にとてつもない手間暇がかけられていることが分かったからだ。今までは、稲は米になる途中の植物でしかなかった。広大な田んぼに植えられた景色の一部でしかなかった。今は、そこに農家さんの工夫や努力が詰まっている「結晶」のように見えるようになった。稲は農家さんの愛情を一心に受け、今日もすくすくと育っているのだ。

空気もだいぶ秋めいてきた。稲刈りの日が近づいてきている。早く我が家のお米が食べたいと、気持ちちはやる。それと同時に、毎日のお米も美味しく、大切に食べたい。そう思いながら、僕は今日も我が家のバケツで育った稲を眺めている。

作文部門審査講評

裕 武田 上山市立中川小学校校長

第四十九回「ごはん・お米とわたし」作文コンクールには、全国の小中学校から二万七千六百九点というたくさんの作品を応募いただきました。県内からも昨年度を上回る二百四十三点の作文が寄せられました。どの作品も炊きたてのごはんのようにキラキラ輝いて、ふつくと膨らんだ素晴らしい作品ばかりでした。

一口に、「ごはん」「お米」といつてもそのとらえ方は人それぞれです。今年は特に、家族との結びつきやその温もり、自然の恵み、そして、農家の方々の努力に感謝する作品が多かったことが印象的です。家族で囲む食卓や、祖父母との田植え体験、農家の方々の苦労と喜びへの気づきなど、それぞれの作品が、「ごはん」「お米」を中心にした豊かな人間関係を描いていました。審査を通じて実感したのは、作文を通じて自分たちの暮らしや文化、さらには社会そのものを見つめる力が、しっかりと育っていることです。今後本コンクールが「ごはん」「お米」とのつながりを再認識し、新たな気づきを得る契機になれば幸いです。

今年も、本県の作品が全国コンクールの優秀賞受賞という荣誉に輝いています。ここでは、本県の審査において、山形県知事賞、山形県農業協同組合中央会会長賞を受賞された作品を紹介します。

一部(小学校一年生から三年生)

○「ぼくのごはんは金メダル」

(東根市立小田島小学校 二年 小山田瑛太 山形県知事賞)

瑛太さんは、いつもお母さん・おばあちゃんが炊くごはんをおいしく食べています。同じお米でも、炊く人が変わると食感が変化することを不思議に感じました。そして、自分もお米を炊くことに挑戦します。その様子を擬音語や比喩を用いて生き生きと表現できています。ご飯を炊いたときのワクワク感やドキドキ感、そして、自分が研いだお米が、おいしいごはんに変身した満足感や誇らしげな気持ちが伝わってくる作品です。

○「がんばれ 赤ちゃんええ！」

(最上町立向町小学校 三年 阿部市香 山形県農業協同組合中央会会長賞)

市香さんがいつも食べているのは、パパが一生懸命育てたお米です。市香さんもたねうえを手伝い、苗が生長するのを、赤ちゃんを見守るように温かな視線を送っています。赤倉温泉スキー場のお客さんが、市香さんのお家のお米を褒めてくれ、ごはんをおかわりしてくれたときの喜びやうれしさ、そして、パパの作っているお米がどんなに美味しいのかを誇らしげに感じていることがよくわかります。

二部(小学校四年生から六年生)

○「祖父の思い」

(大蔵村立大蔵小学校 五年 伊藤莉乃 山形県知事賞)

莉乃さんの祖父と父は、米づくりをしています。本県を襲った豪雨災害により、甚大な被害を受けたものの、自分のできることを精一杯しようとする不屈の精神をもつ祖父に感銘を受けました。そして、その精神は、米づくりが好きなことが源になっていることを知ります。祖父から、自分が好きなことや夢中になれること、今自分にできることを見つけることが大切であるという貴重な学びを得ることができていました。

○「大切なお米」

(鶴岡市立朝陽第二小学校 六年 佐藤誠志郎 山形県農業協同組合中央会会長賞)

誠志郎さんは、入院のために、一年間に三回もお米を食べることができませんでした。食べたいのに食べられないつらい時期があったからこそ、際立って感じられるごはんのおいしさを、においや色、温度など五感を使って表現しています。お米を食べて元気になるだけでなく、元氣だからこそお米のおいしさを味わえるということに気づかされる作品です。また、自身の米づくりを振り返り、お米を作っている農家への感謝の気持ちを強めています。

三部(中学生)

○「おにぎりと僕」

(米沢市立第四中学校 三年 村田慶真 山形県知事賞)

モンテディオ山形の応援歌の引用という斬新な書き出しが読み手の関心を引き出しています。そして、サッカー応援で出会った「つや姫」の塩おにぎりを紹介し、山形県の誇るお米のおいしさが描写されています。後半は、東吾妻の山開きに参加し、頂上ではおぼるおにぎりの味が格別であることが描かれ、おにぎり・お米に込められた思いが伝わる作品になっています。

○「初めてのバケツ稲」

(米沢市立第一中学校 二年 戸田寛幸 山形県農業協同組合中央会会長賞)

家庭栽培の米づくりに、家族みんなで取り組む様子が生き生きと表現されています。「のんびり屋の母に育てられた稲は、穂が出るのものんびりらしい」といったユーモアあふれる表現もあり、言葉選びが秀逸です。自身で米づくりに挑戦したことにより、農家の努力やお米に注ぐ愛情に気づくことができました。また、お米に対する認識が変化していることもよくわかります。

山形県学校奨励賞

今年度の山形県学校奨励賞は、南陽市立沖郷小学校と米沢市立第四中学校が受賞されました。誠におめでとうございます。

敦

建部

大江町立左沢小学校校長

第四十九回「ごはん・お米とわたし」図画コンクールに、全国の小・中学校から四万一千百四十四点の作品が寄せられました。県内からは昨年度を上回る千二十四点の応募がありました。今年度も多くの子どもたちが意欲的に作品を制作し、出品してくれたことを大変嬉しく思います。本コンクールに応募された小・中学校の皆さんが、作品制作を通して食への理解と学びを深め、日本の主食であるお米やごはん食を大切にできる人へと成長されることを、切に願っております。

応募作品を見せていただくと、お米一粒一粒を大切に描こうとしている作品が多くありました。おにぎりを食べる様子を描いた作品や炊き上がったごはんを描いた作品、稲刈りをしている作品など描かれている内容は様々でしたが、小さな米粒を丁寧に表現しようという作者の思いが伝わってきました。そこには、稲作に携わっている方や毎日ごはん食をつくってくれる方への感謝の気持ちがあるのでしょう。

今回審査するにあたっては、お米やごはん食に関する体験や思い出、イメージなどを、自分が感じたり想像したりしたことを大切にして自分らしく表現できたかどうかを特に大切にしたいと考えています。

過去の全国審査において、本県より入賞に輝いた素晴らしい作品がありましたが、今年度も二作品が全国で優秀賞という嬉しい結果となりました。誠におめでとうございます。ここでは、山形県知事賞、山形県農業協同組合中央会会長賞を受賞された作品を紹介します。

一部(小学校一年生から三年生)

○「あかるい はらっぱで いいきもち」

(尾花沢市立尾花沢小学校二年 堀 大晴 山形県知事賞)

青空広がる原っぱでさわやかな風を浴びながらお弁当を食べたのでしよう。大きく描いた人物の表情、のびやかなクレヨンの線や絵の具の筆あとなどから、作者が気持ちよく弁当開きをしている様子が大変よく感じられます。弁当のおかずや背景の花の色彩も作品のアクセントになっており、画面全体から元気なエネルギーが満ち溢れているかのような、実に魅力的な作品です。

○「ぼくとさやまき」

(尾花沢市立玉野小学校二年 岸 想来 山形県農業協同組合中央会会長賞)

楽しそうに食卓へ向かう一場面が描かれており、笹巻きを前にした3人のニコニコしている表情に心が和みます。お皿のまわりの模様やお皿の上の笹巻きひとつひとつが丁寧に描かれている様子から、作者が笹巻きという伝統食を大切にしている思いが強く伝わってきます。きつと家族団らんの中で笹巻きをいただいたのでしょうか。その思い出は幸せな時間だったことが伺える、あたたかくほのぼのとした作品となっています。

二部(小学校四年生から六年生)

○「弟の歯がぬけた日は米のしゅうかく記ねん日」

(新庄市立荻野学園四年 二戸寧音 山形県知事賞)

作者が弟の成長を喜ぶ気持ちと、弟がお米の収穫を喜ぶ気持ちが作品の中によく表れていて、見ている幸せな気持ちになります。表情を表すための肌の色づかいや髪の毛の筆づかいなど、思いを込めて丁寧に取り組んだ様子が伝わってきます。描きたいものを大きくいっぱいに表現していることで伝えたいテーマを強く感じ取ることができました。

○「ごはんに感謝！「いただきます」」

(天童市立天童南部小学校六年 茂木 光 山形県農業協同組合中央会会長賞)

田植えから稲刈りまで、季節の変化とともに成長していく様子を、作品の構成を考えよく表現しています。やさしい色づかいで筆の先を使つて一本一本丁寧に描ききついているところが、お米ができるまでの感謝の表れとなり作品の完成度につながっています。おいしいごはんを前にした一瞬だけを切り取るのではなく、その過程をも大切にしていることがよくわかります。

三部(中学生)

○「ばあちゃんのおにぎりは世界一!!」

(米沢市立第二中学校一年 笹木一花 山形県知事賞)

おばあちゃんの愛情のいっぱいつまったおにぎりを、一粒のお米まで丁寧に描いています。またその表情からもおにぎりの温かさや家族の温かさを感じます。大切に育てられたお米が収穫され、愛情たつぷりのおにぎりになることを通して、作者のお米に対する深い思いを感じます。都会では核家族が進み、なかなか祖母がにぎってくれるおにぎりが食べられない時代にあつて、こうした祖母の様子があたたかく描かれるのも、本コンクールの良さではないでしょうか。

○「運動後の養分補給」

(米沢市立第二中学校三年 高橋和心 山形県農業協同組合中央会会長賞)

運動後の心地よい疲労感の中で食べるおにぎりのおいしさを、表情や全体の色づかいで効果的に表現しています。明るい色づかいからその満足感がとても伝わり、食べることの幸せ、ひいては生きることの喜びが感じられる作品です。おにぎりを一口はおぼった時の幸せな感覚が画面全体に広がっており、作品を見ている人まで幸福な気持ちにさせてくれる作品です。

山形県学校奨励賞

今年度の山形県学校奨励賞は、尾花沢市立尾花沢小学校と米沢市立第二中学校が受賞されました。

(敬称略)

第37回	第38回	第39回	第40回	第41回	第42回
山形県 ●県知事賞 伊藤 風牙(鶴岡市) 井上 瑞貴(山形市) 松寄 大吾(米沢市) ●県中央会会長賞 佐竹 巧(山形市) 笹本 悠奈(庄内町) 我妻隆太郎(米沢市) ●優秀賞 早坂 大翔(大蔵村) 津藤 奏(山形市) 丸山 美優(鶴岡市) 渋谷 結(鶴岡市) 佐藤 光(鶴岡市) 池田 結(庄内町) 會田 空翔(山形市) 森 麗奈(米沢市) 佐藤みのり(庄内町) 齋藤 結月(鶴岡市) 伊藤 優太(山形市) 小野寺拓海(鶴岡市) 高内 滯奈(山形市) 井上 れな(鶴岡市) 遠藤 美月(鶴岡市) ●学校奨励賞 鶴岡市立朝日小学校 米沢市立第四中学校	山形県 ●県知事賞 佐々木美麗(米沢市) 高橋満里奈(新庄市) 小野寺涼太(鶴岡市) ●県中央会会長賞 阿部 聖音(酒田市) 佐藤 礼夢(鶴岡市) 安部 優香(米沢市) ●優秀賞 上林 奈央(鶴岡市) 津藤 奏(山形市) 小野幸治郎(大蔵村) 早坂 大翔(大蔵村) 安部 真桜(米沢市) 田村 健人(米沢市) 諏訪 琳音(鶴岡市) 大滝 星矢(鶴岡市) 佐藤 陽理(南陽市) 伊藤 日高(鶴岡市) 伊藤 優太(山形市) 鈴木 千絵(南陽市) 高橋真惟子(南陽市) 石原 花凛(飯豊町) 清和 怜真(鶴岡市) ●学校奨励賞 大蔵村立大蔵小学校 鶴岡市立朝日中学校	山形県 ●県知事賞 門脇 陽希(大蔵村) 後藤 芽衣(河北町) 森村 春輝(山形市) ●県中央会会長賞 軽部 翔真(寒河江市) 青木 実央(新庄市) 留守めぐみ(米沢市) ●優秀賞 後藤 天星(最上町) 早坂 颯真(東根市) 加藤 響(大蔵村) 後藤 有瑠(高畠町) 伊藤准輝亜(高畠町) 小澤 爽太(白鷹町) 五十嵐広大(鶴岡市) 丸山 美優(鶴岡市) 打田ゆらら(白鷹町) 荒木 怜(最上町) 八巻 怜花(米沢市) 山口 雅乃(鶴岡市) 今野 佑香(米沢市) 渋江 初菜(山形市) 井上 砂城(鶴岡市) ●学校奨励賞 大蔵村立大蔵小学校 山形市立第三中学校	山形県 ●県知事賞 鈴木 佑佳(山形市) 佐藤虎太郎(真室川町) 吉田 ゆい(米沢市) ●県中央会会長賞 島腹 里玖(新庄市) 伊藤 晴夏(三川町) 山口 雅乃(鶴岡市) ●優秀賞 安部くるみ(米沢市) 中川 峻(南陽市) 木内 春陽(東根市) 早坂 涼太(東根市) 川田 健太(新庄市) 笠原 莉玖(新庄市) 小下 健太(高畠町) 田中 空来(寒河江市) 佐藤 弥桜(鶴岡市) 庄司潤一郎(真室川町) 新野 涼香(川西町) 橋本 未句(米沢市) 高野穂乃花(山形市) 伊藤 寧音(山形市) ●学校奨励賞 新庄市立秋野小学校 米沢市立第二中学校	山形県 ●県知事賞 野川 裕太(米沢市) 高橋 悠太(天童市) 佐藤 百華(米沢市) ●県中央会会長賞 木内 春陽(東根市) 伊藤 柚葵(天童市) 松本 季子(米沢市) ●優秀賞 鈴木 あこ(庄内町) 安部くるみ(東根市) 加藤 翼沙(高畠町) 柴崎 皓大(最上町) 堀川 遙(天童市) 大場新之助(最上町) 伊藤 楓華(天童市) 大類 渚(天童市) 佐藤 里菜(米沢市) 小野 海咲(最上町) 高橋 夢月(米沢市) 山本 穂(米沢市) 竹田 勇貴(米沢市) 鈴木 里桜(米沢市) 舟山 楓夏(山形市) ●学校奨励賞 天童市立津山小学校 米沢市立第二中学校	山形県 ●県知事賞 安部くるみ(米沢市) 佐藤 舜太(米沢市) 鈴木 雄貴(米沢市) ●県中央会会長賞 佐藤 花音(三川町) 千田 悠悟(南陽市) 伊藤 芽琉(山形市) ●優秀賞 鈴木 萌音(山形市) 齋藤 純真(高畠町) 齊藤 逞真(最上町) 阿部 璃空(新庄市) 手塚 通斗(高畠町) 手塚 大地(米沢市) 加藤 響子(高畠町) 井上 櫻子(三川町) 星 七菜子(新庄市) 阿部 真直(最上町) 高橋 陸斗(山形市) 佐藤 弥桜(鶴岡市) 梅本 京香(鶴岡市) 疋田 夏海(鶴岡市) ●学校奨励賞 村山市立植岡小学校 川西町立川西中学校
全 国 ●優秀賞 小田山瑛太(東根市) 伊藤 莉乃(大蔵村) 村田 慶真(米沢市)	全 国 ●全国農業協同組合中央会会長賞 黒澤 堅仁(米沢市)	全 国 ●農林水産大臣賞 田村 理音(米沢市) ●優秀賞 松田 彩未(庄内町) 藤村 愛依(米沢市) ●学校奨励賞 米沢市立北部小学校	全 国 ●文部科学大臣賞 青木 舞桂(米沢市) ●農林水産大臣賞 園部 杏莉(庄内町) ●優秀賞 丸谷 真嬉(鶴岡市) ●学校奨励賞 米沢市立北部小学校 庄内町立余目第三小学校	全 国 ●優秀賞 佐藤 椰(庄内町)	全 国 ●全国農業協同組合中央会会長賞 早坂 佑羽(大蔵村) ●優秀賞 佐藤 舜太(米沢市)
山形県 ●県知事賞 堀 大晴(尾花沢市) 二戸 寧音(新庄市) 笹木 一花(米沢市) ●県中央会会長賞 岸 想来(尾花沢市) 茂木 光(天童市) 高橋 和心(米沢市) ●優秀賞 五十嵐雪乃(大江町) 伊藤 想桜(最上町) 永倉 稜久(東根市) 鳥倉 琉衣(高畠町) 野崎 亜瑚(大蔵村) 近野 花怜(米沢市) 鈴木 詩(長井市) 戸田諒太郎(米沢市) 添川 夢叶(高畠町) 渡部 智秋(高畠町) 青木 結菜(米沢市) 遠藤 夏月(鶴岡市) 小野寺由衣(鶴岡市) 佐藤 和奏(山形市) 沖田 葉音(米沢市) ●学校奨励賞 尾花沢市立尾花沢小学校 米沢市立第二中学校	山形県 ●県知事賞 加藤 亮太(尾花沢市) 山澤 幸生(米沢市) 加藤晃士郎(米沢市) ●県中央会会長賞 三浦 陽太(尾花沢市) 遠藤 澄人(鶴岡市) 高橋 桃子(山形市) ●優秀賞 石沢 大地(尾花沢市) 伊藤 優牙(南陽市) 鈴木倫太郎(尾花沢市) 小貫 愛華(尾花沢市) 高橋 丈流(尾花沢市) 秋保 夏鈴(尾花沢市) 小林 由芽(最上町) 瀬尾優香菜(山形市) 小林 亜門(川西町) 齋藤 和音(鶴岡市) 柿崎 翠里(山形市) 川合 海音(山形市) 佐藤 七渚(鶴岡市) 佐藤 祐菜(鶴岡市) 渡会ひより(鶴岡市) ●学校奨励賞 尾花沢市立尾花沢小学校 鶴岡市立櫛引中学校	山形県 ●県知事賞 押野 咲紀(山形市) 山澤 幸生(米沢市) 川合 海音(山形市) ●県中央会会長賞 瀧澤 永吉(高畠町) 添川 夢叶(高畠町) 浅野 来菜(米沢市) ●優秀賞 栗田 泰成(真室川町) 鈴木 楓麻(南陽市) 早坂 優希(大石田町) 加藤 凜空(村山市) 矢作 蒼梧(大石田町) 伊藤 学玖(大蔵村) 松田 蒼土(白鷹町) 柴田 鉄汰(尾花沢市) 遠藤 嘉乃(尾花沢市) 加藤 璃子(舟形町) 木村 佳恵(山形市) 横山 瑠香(米沢市) 猪口 陽向(米沢市) 後藤 大駕(米沢市) 安野 雅彩(鶴岡市) ●学校奨励賞 山形大学附属小学校 米沢市立第二中学校	山形県 ●県知事賞 殿岡 直橙(南陽市) 岡田 鉄汰(尾花沢市) 井田 大成(山形市) ●県中央会会長賞 高梨 倅芽(川西町) 笹生 大河(山形市) 川合 海音(山形市) ●優秀賞 庄 圭吾(尾花沢市) 島腹 啓翔(新庄市) 五十嵐友榮(尾花沢市) 松田 彩那(庄内町) 齋藤 一花(山形市) 荒木 怜人(村山市) 落合 絢音(尾花沢市) 佐藤 珠々(山形市) 阿部 桜貴(高畠町) 木村 佳恵(山形市) 後藤 大駕(米沢市) 漆山 陽向(山形市) 鈴木 大虎(飯豊町) 佐藤 暖(天童市) 伊藤 美緒(鶴岡市) ●学校奨励賞 山形大学附属小学校 山形市立第五中学校	山形県 ●県知事賞 秋保 一路(尾花沢市) 木村 佳恵(尾花沢市) 古内 慧土(山辺町) ●県中央会会長賞 工藤 壮真(新庄市) 星川 煌(尾花沢市) 朝倉 春花(山形市) ●優秀賞 関 心和(白鷹町) 大場 雄翔(最上町) 石山 蒼(最上町) 鈴木 瑠桜(米沢市) 佐藤 花音(三川町) 西尾アンジュリン(尾花沢市) 尾崎ありさ(尾花沢市) 尾崎 翠玖(尾花沢市) 狩野 祐輔(高畠町) 岩浪 廉(鶴岡市) 原田 陽菜(山形市) 鈴木妃依里(山形市) 川口 憧(山辺町) 宗田 萌(山辺町) 齋藤 美維(鶴岡市) ●学校奨励賞 尾花沢市立尾花沢小学校 山辺町立山辺中学校	山形県 ●県知事賞 遠藤 嘉乃(尾花沢市) 遠藤 真心(尾花沢市) 富樫 優有(山形市) ●県中央会会長賞 佐藤 瑛太(尾花沢市) 石山 万莉(尾花沢市) 加藤百合亜(新庄市) ●優秀賞 安彦咲汰朗(南陽市) 二戸 心菜(最上町) 後藤 莉渚(尾花沢市) 西塚 悠生(尾花沢市) 原田 倭(尾花沢市) 永沢 真彩(尾花沢市) 齋藤 真輝(鶴岡市) 村上 業生(三川町) 佐藤 結望(三川町) 高橋 伊吹(尾花沢市) 原田 陽菜(山形市) 木元素玖璃(鶴岡市) 薬科ひなた(米沢市) 松田 桃香(鶴岡市) 箱山 妃南(新庄市) ●学校奨励賞 尾花沢市立金井中学校
全 国 ●文部科学大臣賞 井上 花帆(尾花沢市) ●優秀賞 遠藤 嘉乃(尾花沢市) 遠藤 真心(尾花沢市)	全 国 ●優秀賞 鈴木 大智(高畠町)	全 国	全 国	全 国	全 国 ●文部科学大臣賞 遠藤 嘉乃(尾花沢市) ●優秀賞 富樫 優有(山形市) ●学校奨励賞 尾花沢市立尾花沢小学校

(敬称略)

第49回	第48回	第47回	第46回	第44回	第43回
山形県 ●県知事賞 小山田瑛太(東根市) 伊藤 莉乃(大蔵村) 村田 慶真(米沢市) ●県中央会会長賞 阿部 市香(最上町) 佐藤誠志郎(鶴岡市) 戸田 寛幸(米沢市) ●優秀賞 海野 潯里(庄内町) 佐藤 悠仁(米沢市) 中川 陽斗(高畠町) 遠藤 睦斗(南陽市) 二宮 悠里(南陽市) 大沼 希依(最上町) 高橋 青愛(南陽市) 矢作 莉夢(大蔵村) 高野幹太郎(米沢市) 添川 夢叶(高畠町) 我妻 尚哉(高畠町) 佐藤 初佳(米沢市) 土田 彩太(天童市) 渡部 紫季(米沢市) 五十嵐大貴(米沢市) ●学校奨励賞 南陽市立沖郷小学校 米沢市立第四中学校	山形県 ●県知事賞 石澤 悠大(山形市) 加藤 零風(最上町) 水吉琥太郎(米沢市) ●県中央会会長賞 水野ひかり(鶴岡市) 伊藤 学玖(大蔵村) 戸田 寛幸(米沢市) ●優秀賞 東海林叡希(山形市) 丹野 彩輝(村山市) 矢作 莉夢(大蔵村) 三浦 莉央(鮭川村) 渡部 敬太(高畠町) 渡會 寛介(鶴岡市) 平 晨備(村山市) 仲田 百香(高畠町) 安食 菜夏(戸沢村) 田村 理音(米沢市) 鈴木 聡真(米沢市) 梅津 琴美(米沢市) 山田 悠太(米沢市) 紺野 心夢(白鷹町) 高橋 羽奏(飯豊町) ●学校奨励賞 大蔵村立大蔵小学校 米沢市立第四中学校	山形県 ●県知事賞 松田 彩未(庄内町) 熊谷 大輔(東根市) 藤村 愛依(米沢市) ●県中央会会長賞 梁瀬 聖希(大蔵村) 中嶋 尊帆(最上町) 小笠原晃穂(鶴岡市) ●優秀賞 佐藤 茉優(真室川町) 島 円花(山形市) 矢作 莉夢(大蔵村) 桑原 鶴斗(鶴岡市) 千歳友太郎(山形市) 佐藤 優真(真室川町) 五十嵐蒼二郎(鶴岡市) 茂木 耀義(米沢市) 加藤 愛(南陽市) 鈴木昭太郎(高畠町) 鈴木寧々花(米沢市) 菊地 咲良(白鷹町) 加藤寿々風(米沢市) 竹田 春輝(高畠町) 手塚 通斗(高畠町) ●学校奨励賞 米沢市立北部小学校 米沢市立第四中学校	山形県 ●県知事賞 添川 夢叶(高畠町) 齋藤 優空(三川町) 有賀 咲星(鶴岡市) ●県中央会会長賞 佐藤 来彌(真室川町) 鈴木亜悠陸(鶴岡市) 林谷さくら(山形市) ●優秀賞 土屋 晴路(山形市) 松浦 李那(山形市) 佐藤 衣鞠(三川町) 佐藤 風(鶴岡市) 高橋 陽(真室川町) 中嶋 尊帆(最上町) 田村 理音(米沢市) 渡辺 琉生(最上町) 宮澤 桃季(米沢市) 我妻 尚哉(高畠町) 寒河江万葉(南陽市) 鈴木 崇仁(米沢市) 鈴木百々花(米沢市) 石川 和翔(米沢市) 菅原 紗希(白鷹町) ●学校奨励賞 高畠町立和田小学校 鶴岡市立朝日中学校	山形県 ●県知事賞 相田 瑛舞(南陽市) 安部くるみ(米沢市) 丸谷 真嬉(鶴岡市) ●県中央会会長賞 田村 理音(米沢市) 宗形 柚希(山形市) 小林 柊也(川西町) ●優秀賞 横山 莉子(山辺町) 菅原 菜央(東根市) 矢口 美颯(最上町) 北澤 優志(米沢市) 森谷 菜南(鶴岡市) 後藤 怜皇(最上町) 安食 日涼(戸沢村) 我妻 尚哉(高畠町) 伊藤 清子(米沢市) 佐藤 舜太(米沢市) 早坂 菜摘(米沢市) 戸田 和幸(米沢市) 山崎 遙斗(米沢市) 保科 紅葉(川西町) 中目 量太(鶴岡市) ●学校奨励賞 米沢市立北部小学校 鶴岡市立鶴岡第三中学校	山形県 ●県知事賞 柴田 呈(山形市) 佐藤 椰(庄内町) 手塚 大地(米沢市) ●県中央会会長賞 杉浦 昊(米沢市) 原田 昊太(鶴岡市) 丸谷 亮太(鶴岡市) ●優秀賞 峯田 孝誠(米沢市) 齋藤 夢佳(村山市) 土田 朝翔(村山市) 天野 悠都(村山市) 青木 舞桂(米沢市) 安部くるみ(米沢市) 加藤 花音(高畠町) 本間 智紀(三川町) 高橋龍之介(南陽市) 樋口 佳汰(白鷹町) 伊藤 葵(川西町) 齋藤由希哉(高畠町) 佐藤 弥桜(鶴岡市) 梅本 京香(鶴岡市) 疋田 夏海(鶴岡市) ●学校奨励賞 村山市立植岡小学校 川西町立川西中学校
全 国 ●優秀賞 小山田瑛太(東根市) 伊藤 莉乃(大蔵村) 村田 慶真(米沢市)	全 国 ●全国農業協同組合中央会会長賞 黒澤 堅仁(米沢市)	全 国 ●農林水産大臣賞 田村 理音(米沢市) ●優秀賞 松田 彩未(庄内町) 藤村 愛依(米沢市) ●学校奨励賞 米沢市立北部小学校	全 国 ●文部科学大臣賞 茂木 耀義(米沢市) ●優秀賞 齋藤 優空(三川町) 有賀 咲星(鶴岡市) ●学校奨励賞 米沢市立南原小学校	全 国 ●文部科学大臣賞 青木 舞桂(米沢市) ●農林水産大臣賞 園部 杏莉(庄内町) ●優秀賞 丸谷 真嬉(鶴岡市) ●学校奨励賞 米沢市立北部小学校 庄内町立余目第三小学校	全 国 ●優秀賞 佐藤 椰(庄内町)
山形県 ●県知事賞 堀 大晴(尾花沢市) 二戸 寧音(新庄市) 笹木 一花(米沢市) ●県中央会会長賞 岸 想来(尾花沢市) 茂木 光(天童市) 高橋 和心(米沢市) ●優秀賞 五十嵐雪乃(大江町) 伊藤 想桜(最上町) 永倉 稜久(東根市) 鳥倉 琉衣(高畠町) 野崎 亜瑚(大蔵村) 近野 花怜(米沢市) 鈴木 詩(長井市) 戸田諒太郎(米沢市) 添川 夢叶(高畠町) 渡部 智秋(高畠町) 青木 結菜(米沢市) 遠藤 夏月(鶴岡市) 小野寺由衣(鶴岡市) 佐藤 和奏(山形市) 沖田 葉音(米沢市) ●学校奨励賞 尾花沢市立尾花沢小学校 米沢市立第二中学校	山形県 ●県知事賞 加藤 亮太(尾花沢市) 遠藤 優馬(米沢市) 加藤晃士郎(米沢市) ●県中央会会長賞 三浦 陽太(尾花沢市) 遠藤 澄人(鶴岡市) 高橋 桃子(山形市) ●優秀賞 石沢 大地(尾花沢市) 伊藤 優牙(南陽市) 鈴木倫太郎(尾花沢市) 小貫 愛華(尾花沢市) 高橋 丈流(尾花沢市) 秋保 夏鈴(尾花沢市) 小林 由芽(最上町) 瀬尾優香菜(山形市) 小林 亜門(川西町) 齋藤 和音(鶴岡市) 柿崎 翠里(山形市) 川合 海音(山形市) 佐藤 七渚(鶴岡市) 佐藤 祐菜(鶴岡市) 渡会ひより(鶴岡市) ●学校奨励賞 尾花沢市立尾花沢小学校 鶴岡市立櫛引中学校	山形県 ●県知事賞 押野 咲紀(山形市) 山澤 幸生(山形市) 川合 海音(山形市) ●県中央会会長賞 瀧澤 永吉(高畠町) 添川 夢叶(高畠町) 浅野 来菜(米沢市) ●優秀賞 栗田 泰成(真室川町) 鈴木 楓麻(南陽市) 早坂 優希(大石田町) 加藤 凜空(村山市) 矢作 蒼梧(大石田町) 伊藤 学玖(大蔵村) 松田 蒼土(白鷹町) 柴田 鉄汰(尾花沢市) 遠藤 嘉乃(尾花沢市) 加藤 璃子(舟形町) 木村 佳恵(山形市) 横山 瑠香(米沢市) 猪口 陽向(米沢市) 佐藤 七渚(鶴岡市) 安野 雅彩(鶴岡市) ●学校奨励賞 山形市立北部小学校 米沢市立第二中学校	山形県 ●県知事賞 殿岡 直橙(南陽市) 柴田 鉄汰(尾花沢市) 井田 大成(山形市) ●県中央会会長賞 高梨 倅芽(川西町) 笹生 大河(山形市) 川合 海音(山形市) ●優秀賞 庄司 圭吾(尾花沢市) 島腹 啓翔(新庄市) 五十嵐友築(尾花沢市) 松田 彩那(庄内町) 齋藤 一花(山形市) 荒木 怜人(村山市) 落合 絢音(尾花沢市) 佐藤 珠々(山形市) 阿部 桜貴(高畠町) 木村 佳恵(山形市) 後藤 大駕(米沢市) 漆山 陽向(山形市) 鈴木 大虎(飯豊町) 佐藤 暖(天童市) 伊藤 美緒(鶴岡市) ●学校奨励賞 山形大学附属小学校 山形市立第五中学校	山形県 ●県知事賞 秋保 一路(尾花沢市) 木村 佳恵(山形市) 古内 慧士(山辺町) ●県中央会会長賞 工藤 壮真(新庄市) 星川 煌(尾花沢市) 朝倉 春花(山形市) 関 心和(白鷹町) 大場 雄翔(最上町) 石山 蒼(最上町) 鈴木 瑠桜(米沢市) 佐藤 花音(三川町) 西尾アユリ(尾花沢市) 尾崎ありさ(尾花沢市) 尾崎 翠玖(尾花沢市) 狩野 祐輔(高畠町) 岩浪 廉(鶴岡市) 原田 陽菜(山形市) 柿木妃依里(山形市) 川口 憧(山辺町) 宗田 萌(山辺町) 齋藤 美維(鶴岡市) ●学校奨励賞 尾花沢市立尾花沢小学校 山辺町立山辺中学校	山形県 ●県知事賞 遠藤 嘉乃(尾花沢市) 遠藤 真心(尾花沢市) 富樫 優有(山形市) ●県中央会会長賞 佐藤 瑛太(尾花沢市) 石山 万莉(尾花沢市) 加藤百合亜(新庄市) ●優秀賞 安彦咲汰朗(南陽市) 二戸 心菜(最上町) 後藤 莉渚(尾花沢市) 西塚 悠生(尾花沢市) 原田 僚(尾花沢市) 永沢 真彩(尾花沢市) 齋藤 真輝(鶴岡市) 村上 業生(三川町) 佐藤 結望(三川町) 高橋 伊吹(尾花沢市) 原田 陽菜(山形市) 木元素玖璃(鶴岡市) 薬科ひなた(米沢市) 松田 桃香(鶴岡市) 箱山 妃南(新庄市) ●学校奨励賞 尾花沢市立玉野小学校 山形市立金井中学校
全 国 ●優秀賞 堀 大晴(尾花沢市) 二戸 寧音(新庄市)	全 国 ●優秀賞 加藤 亮太(尾花沢市) 加藤晃士郎(米沢市)	全 国 ●優秀賞 押野 咲紀(山形市) 川合 海音(山形市)	全 国 ●優秀賞 殿岡 直橙(南陽市) 井田 大成(山形市)	全 国 ●優秀賞 遠藤 嘉乃(尾花沢市) 遠藤 真心(尾花沢市)	作 文 部 門

※第45回はコロナ禍のため中止

第49回「ごはん・お米とわたし」作文・図画コンクール募集要領

1. 趣 旨

本コンクールは、JAグループがすすめる「みんなのよい食プロジェクト」の一環として、これからの食・農・地域を担う次世代の子どもたちに、お米・ごはん食、稲作など、日本の食卓と国土を豊かに作りあげてきた水田農業全般についての学びを深めてもらうとともに、子どもたちの優れた作品を顕彰することを通じて、お米・ごはん食・日本食の重要性を広く周知することを目的として実施します。

2. 課 題（作文・図画両部門共通）

毎日のごはんでおいしかったことや家族とのコミュニケーション、お米・ごはん食に関しての思い出や考えたことなどを素直な気持ちで自由に表現して下さい。

3. 応募資格

小学校および中学校に在籍する児童・生徒。
特別支援学校の小学部、中学部に在籍する児童・生徒。

4. 応募規格（枚数・大きさ）

【作文部門】

- 1部 小学校1年生～3年生（400字詰め原稿用紙2枚以内、またはマス目の大きい原稿用紙で800字以内）
2部 小学校4年生～6年生（400字詰め原稿用紙3枚以内）
3部 中学校1年生～3年生（400字詰め原稿用紙4枚以内）
㊟ 作文用紙1枚目の1行目に作品の題名、2行目に学校名、学年、氏名、3行目から本文を書き出してください（学校名、学年、氏名が3行になる場合は4行目から本文を書き出してください）。
㊟ 本人による直筆を原則とし、パソコンなどにより作成した原稿は応募不可とします。
ただし、視覚・手に障害のある児童・生徒については、その旨を特記事項として応募票の欄外に記述した場合のみ、パソコンなどで作成した原稿の応募を認めます。

【図画部門】

- 1部 小学校1年生～3年生
2部 小学校4年生～6年生
3部 中学校1年生～3年生
B3判（364×515ミリ）、もしくは四つ切り（380×540ミリ）の市販画用紙を使用。画材は特に制限しません。
㊟ スローガンや文字を入れたポスター的なものや台紙に貼ったものは応募できません。

5. 応募規則

- (1) 作文・図画とも課題にそった作品を対象とします。
(2) 応募は本人の未発表でオリジナルの作品に限ります。また、他のコンテンツに応募していない作品に限ります。他人の写真や作品を模写・模倣したものは応募できません。著作権、商標権、肖像権など、他者の権利を侵害する作品は応募できません。
(3) ひとりで1部門に2点以上の応募はできません。2点以上応募の場合は、2点とも審査対象外となる場合があります。
(4) 合作は応募できません。
(5) 学校で応募の際は、別添の応募者一覧表（作文部門7ページ、図画部門8ページ）を切り取るか、A4サイズでコピーのうえ、必要事項を明記し、必ず添付してください。
(6) 作品には、1点ごとに次の事項を記入した応募票（6ページ）を貼付してください。つける位置は最後のページの裏面、図画は裏面中央とします。（6ページ参照）①作品の題名②氏名③学校名・学年・組④学校の所在地（郵便番号・電話番号）⑤JA（農業協同組合）名
(7) 全応募作品を、表彰式終了後の令和7年2月下旬ごろ、各JAから応募校を通じて応募者に返却いたします。また、全国コンクールの各大臣賞および全国農業協同組合中央会会長賞受賞作品ならびに山形県コンクールの県知事賞および県農業協同組合中央会会長賞受賞作品は、レプリカを作成し、大臣賞受賞作品は永年、県知事賞・県農業協同組合中央会会長賞は1年間、「協同の杜」JA研修所に展示します。なお、作品の著作権は全国農業協同組合中央会および山形県農業協同組合中央会に帰属します。
(8) 作品に応募することによって、応募作品をJAグループ（後援協賛団体を含む）の広報活動および諸事業活動のために利用することに予め承諾したものとします。その際、作文の部分的な抜き出しや、図画のサイズの変更・トリミングなど一部改変させていただく場合があります。印刷等の都合上、実際の作品と色が多少異なる場合がございます。
(9) 記入いただいた個人情報は、入賞通知・発表や表彰式などのほか、県名、学校名、学年、氏名等の一部情報についてはプレスリリース等のメディアへの発表、JAグループ（後援協賛団体を含む）の広報媒体（入賞作品集やホームページ等）への露出や作品展示などの広報活動および諸事業活動で公表・使用することがあります。上記および、法令等により開示を求められた場合を除き、承諾なくコンクール関係者以外の第三者に個人情報を提供することはありません。
(10) 作品に応募することによって、上記の個人情報の使用に承諾したものとします。
(11) 入賞通知後でも、当該入賞作品がすでに発表済みやオリジナルでない作品と判明した場合、応募規則への違反や、虚偽の報告が判明した場合は受賞を取り消します。

6. 締 切 日

令和6年9月30日(月) ※必着

7. 全国段階との関連

- (1) 県段階で予選審査を行い、各部門各部位ごとに点数を全国コンクールに推

- 薦します。
(2) 全国コンクール入賞作品（優秀賞除く）以外の作品を対象に、山形県コンクールの審査を行い、県段階の入賞作品を決定します。

8. 審査員

【全国コンクール】

- ◎審査会委員長
尾木 直樹 氏（教育評論家、法政大学名誉教授、臨床教育研究所「虹」所長）
◎作文部門
設楽 敬一 氏（（公社）全国学校図書館協議会理事長）
竹村 和子 氏（（公社）全国学校図書館協議会常務理事・事務局長）
堀米 薫 氏（児童文学作家、（一社）日本児童文芸家協会理事）
真鍋 和子 氏（児童文学作家、（一社）日本児童文学作家協会評議員）
位川 一郎 氏（農政ジャーナリスト、元毎日新聞経済部編集委員）
◎図画部門
岡田 門治 氏（元株式会社NHKアート代表取締役社長、日本美術家連盟会員）
岡村 泰成 氏（美術家集団「Moss Spirits」代表、日本美術家連盟会員）
小柳津須香枝 氏（日本美術家連盟会員）
西巻 茅子 氏（絵本作家）
東良 雅人 氏（元文部科学省初等中等教育局視学官、京都市教育委員会総合教育センター副所長）

- 郡司 明子 氏（群馬大学教授）
【山形県コンクール】
県教育庁および小・中学校教員（作文部門5名、図画部門3名）

9. 審査基準

別添審査基準(作文部門4ページ、図画部門5ページ)による。

10. 賞

【全国コンクール】

- (1) 内閣総理大臣賞 作文・図画部門各1名——計2名
賞状と副賞（記念盾及びお米券、記念メダル）
(2) 文部科学大臣賞 各部門各部位ごとに1名——計6名
賞状と副賞（お米券及び記念メダル）
(3) 農林水産大臣賞 各部門各部位ごとに1名——計6名
賞状と副賞（お米券及び記念メダル）
(4) 全国農業協同組合中央会会長賞 各部門各部位ごとに1名——計6名
賞状と副賞（お米券及び記念メダル）
(5) 優 秀 賞 各部門各部位ごとに15名——計90名
賞状と副賞（記念メダル）
(6) 学 校 奨 励 賞 内閣総理大臣・文部科学大臣・農林水産大臣各賞
受賞者所属校——計14校
賞状

【山形県コンクール】

- (1) 山形県知事賞 各部門各部位ごとに1名——計6名 賞状と副賞
(2) 山形県農業協同組合中央会会長賞 各部門各部位ごとに1名——計6名 賞状と副賞
(3) 優 秀 賞 各部門各部位ごとに5名——計30名 賞状と副賞
(4) 学 校 奨 励 賞 各部門小学校1校中学校1校——計4校 賞状と副賞

11. 入賞発表・表彰式（作文・図画部門共通）

【全国コンクール】

- (1) 入賞発表 令和6年12月上旬
(2) 表 彰 式 令和7年1月11日(土)（入賞校、入賞者宛通知します。）

【山形県コンクール】

- (1) 入賞発表 令和7年1月下旬（予定）
(2) 表 彰 式 令和7年2月中旬（予定）（入賞校、入賞者宛通知します。）

12. 主催・後援・協賛

【主催】

農業協同組合/都道府県農業協同組合中央会/全国農業協同組合中央会

【後援（予定）】

文部科学省／農林水産省／こども家庭庁／全国都道府県教育委員会連合会／全国市町村教育委員会連合会／日本放送協会（NHK）／全国連合小学校長会／全日本中学校長会／（公社）全国学校図書館協議会／（公社）日本PTA全国協議会／（公社）米穀安定供給確保支援機構

【協賛】

全国農業協同組合連合会／全国共済農業協同組合連合会／農林中央金庫／（一社）家の光協会／㈱日本農業新聞／全国厚生農業協同組合連合会／（一社）全国農協観光協会

13. 受付窓口（作品送付先）

県内の各JAとします。
作品応募の際は、最寄りのJAへお持ち込みあるいは、ご郵送ください。

14. 問合せ先

次にお問い合わせください。

〒990-0042 山形市七日町三丁目1番16号
山形県農業協同組合中央会（JA山形中央会）
総務部「作文・図画コンクール」係（担当：長峯・大野）
TEL：023-634-8111 FAX：023-633-1754
E-mail：soumu@nokyo.jp

第49回

「ごはん・お米とわたし」作文・図画コンクール審査経過の概要

■応 募 数

作文：243点				
図画：1,024点	合計	1,267点		
区分	1部	2部	3部	計
作文部門	80点	112点	51点	243点
図画部門	546点	411点	67点	1,024点

■審 査

- (1) 県予選審査期日
作文部門 令和6年10月16日(水)
図画部門 令和6年10月16日(水)
(2) 全国コンクール審査期日
作文部門 令和6年11月12日(火)
図画部門 令和6年11月15日(金)
(3) 県コンクール審査期日
作文部門 令和7年1月14日(火)
図画部門 令和7年1月8日(水)

■審査委員

【県コンクール】

作文部門（5名）

審査委員長 武田 裕（上市市立中川小学校 校長）
笹原美百紀（天童市立第三中学校 校長）
海谷奈美紀（山形市立第八小学校 教諭）
熊谷 周（山形大学附属小学校 教諭）
岩淵真帆子（天童市立第一中学校 教諭）

図画部門（3名）

審査委員長 建部 敦（大江町立左沢小学校 校長）
庄司雅和（山形市立蔵王第一中学校 校長）
芦野繁樹（山形大学附属小学校 教諭）

■審査結果

（1）県コンクール

- ・山形県知事賞 作文部門3名／図画部門3名
- ・山形県農業協同組合中央会会長賞 作文部門3名／図画部門3名
- ・優 秀 賞 作文部門15名／図画部門15名
- ・学 校 奨 励 賞 作文部門2校／図画部門2校

（2）全国コンクール（県内入賞者数）

- ・優 秀 賞 作文部門3名／図画部門2名

年 度	部門	1部	2部	3部	合 計
平成18 (第31回)	作文 図画	33 429	217 499	227 29	477 957
19 (第32回)	作文 図画	44 488	117 418	225 27	386 933
20 (第33回)	作文 図画	58 550	84 412	231 27	373 989
21 (第34回)	作文 図画	77 521	95 376	235 26	407 923
22 (第35回)	作文 図画	68 531	151 308	196 67	415 906
23 (第36回)	作文 図画	56 531	66 290	266 32	388 853
24 (第37回)	作文 図画	51 424	61 309	211 36	323 769
25 (第38回)	作文 図画	56 450	83 372	150 19	289 841
26 (第39回)	作文 図画	95 353	134 382	150 19	379 754
27 (第40回)	作文 図画	122 353	167 370	178 45	467 768
28 (第41回)	作文 図画	124 464	165 361	121 64	410 889
29 (第42回)	作文 図画	133 500	161 344	86 48	380 892
30 (第43回)	作文 図画	86 462	136 349	94 48	316 859
31 (第44回)	作文 図画	122 531	147 400	123 39	392 970
令和2 (第45回)	コロナ禍のため中止				
3 (第46回)	作文 図画	59 382	107 241	78 34	244 657
4 (第47回)	作文 図画	57 479	112 302	75 42	244 823
5 (第48回)	作文 図画	83 541	95 401	60 66	238 1,008
6 (第49回)	作文 図画	80 546	112 411	51 67	243 1,024